

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 7 月 11 日 (2024.7.11)

【公開番号】 特開 2024-50723 (P2024-50723A)
【公開日】 令和 6 年 4 月 10 日 (2024.4.10)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2024-066
【出願番号】 特願 2024-11940 (P2024-11940)
【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

10

A 6 1 P 17/10 (2006.01)

A 6 1 K 31/19 (2006.01)

A 6 1 K 31/195 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 17/10

A 6 1 K 31/19

A 6 1 K 31/195

A 6 1 P 17/00

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 7 月 3 日 (2024.7.3)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

30

患者の四肢上の基底細胞癌を処置する方法に使用するための、10%～20%の5-アミノレブリン酸HClを含む局所組成物であって、該方法は、

(a) 患者の四肢上の処置領域上で前記局所組成物を温置し、一方で、患者の四肢上の処置領域を加熱してもよく；そして、

(b) 前記局所組成物が塗布された処置領域に、 5 J/cm^2 から 50 J/cm^2 の用量の光を投与することを含み、ここで、

光が、320nmと780nmの間の波長を有する、
前記局所組成物。

【請求項 2】

局所組成物が、10%の5-アミノレブリン酸HCl、又は、20%の5-アミノレブリン酸HClを含む、請求項 1 に記載の局所組成物。

40

【請求項 3】

光が、5～60分投与される、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 4】

光が、約380nmと約500nmの間の波長を有する青色光である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 5】

光が、約620nmと約750nmの間の波長を有する赤色光である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 6】

50

光が、LED光源により投与される、請求項1に記載の局所組成物。

【請求項7】

局所組成物が、ナノエマルジョンである、請求項1に記載の局所組成物。

【請求項8】

基底細胞癌種が、結節性であるか浸潤性である、請求項1に記載の局所組成物。

【請求項9】

光の用量が $37 \text{ J} / \text{cm}^2$ である、請求項1に記載の局所組成物。

【請求項10】

処置領域が、約 20°C ～ 約 50°C の温度に加熱される、請求項1に記載の局所組成物。

【請求項11】

前記四肢が頭皮であり、ステップ(a)は、患者の頭皮を加熱しながら同時に前記局所用組成物を患者の頭皮上で加温することを含む、請求項1に記載の局所用組成物。

【請求項12】

前記四肢が患者の足である、請求項1に記載の局所組成物。

【請求項13】

患者の皮膚の扁平上皮癌を処置する方法に使用するための、10%～20%の5-アミノレブリン酸HClを含む局所組成物であって、該方法は、

(a) 患者の処置領域上で前記局所組成物を温置し、一方で、処置領域を加熱してもよく；そして、

(b) 前記局所組成物が塗布された処置領域に、 $5 \text{ J} / \text{cm}^2$ から $50 \text{ J} / \text{cm}^2$ の用量の光を投与することを含み、ここで、

光が、 320 nm と 780 nm の間の波長を有する、
前記局所組成物。

【請求項14】

扁平上皮癌が浸潤性である、請求項13に記載の局所組成物。

【請求項15】

光が、治療部位を約1分～約30分間光に暴露するように投与される、請求項13に記載の局所組成物。

10

20

30

40

50